

## 目次

1 開会の挨拶 .....	3
矢内 真理子 東京都福祉保健局技監	
2 献血功労者厚生労働大臣表彰・感謝状伝達式 .....	4
東京都知事感謝状贈呈式	
3 献血セミナー .....	5
「献血の現状と課題」	
延島 俊明 東京都赤十字血液センター	
4 基調講演 .....	11
輸血有害事象の予防と治療	
座長 田中 朝志 東京医科大学八王子医療センター 輸血部	
講師 岡崎 仁 東京大学医学部附属病院 輸血部	
5 輸血療法Q&A .....	25
平成30年度診療報酬改定における自己血輸血の変更点 ～特に自己フィブリン糊の普及と課題について～	
座長 奥山 美樹 東京都立駒込病院 輸血・細胞治療科	
講師 牧野 茂義 虎の門病院 輸血部	
6 輸血療法シンポジウム .....	43
テーマ：輸血における安全対策	
座長 田崎 哲典 東京慈恵会医科大学附属病院 輸血・細胞治療部	
座長 山元 恵子 東京都看護協会	
オーバービュー .....	43
田崎 哲典 東京慈恵会医科大学附属病院 輸血・細胞治療部	
(1) 事例から学ぶ輸血の事故防止 .....	48
坂口 美佐 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部	
(2) 輸血関連重大アクシデント(不適合輸血等)の分析手順と事後処理 .....	62
～医療安全管理者の立場から～	
藤田 浩 東京都立墨東病院 輸血科	
(3) 院内ラウンドによる輸血教育 .....	69
奥田 誠 東邦大学医療センター大森病院 輸血部	
(4) 患者の誤認防止等の取組 .....	76
長内 佐斗子 日本赤十字社医療センター 医療安全推進室	
ディスカッション .....	83
7 閉会の挨拶 .....	89
藤田 浩 本研究会 世話人代表	



# 1

## 開会の挨拶

東京都福祉保健局技監  
矢内 真理子

東京都福祉保健局技監の矢内でございます。

本日はご来賓の皆さまをはじめ、ご来場の皆さまにおかれましては、ご多忙のところ、第17回東京都輸血療法研究会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。平成30年度献血功労者厚生労働大臣表彰状・感謝状伝達式および東京都知事感謝状贈呈式に当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

本年度は、厚生労働大臣表彰状を3団体、厚生労働大臣感謝状を1団体、また東京都知事感謝状を1団体の方々を受賞されました。受賞された皆さまには心よりお祝いを申し上げます。

本日表彰をお受けになる皆さま方には、職場や学校あるいは地域で、長年にわたり献血活動にご協力をいただいております。東京都の血液事業は、こうした方々の尊い善意に支えられて成り立っていることはいまでもございません。ここにあらためて東京都を代表して、受賞されました皆さまのこれまでのご功績に対し、深く敬意を表しますとともに、日ごろから献血にご協力いただいている方々、関係者の皆さまのご尽力に心から感謝を申し上げます。

さて、輸血医療に欠かすことができない献血でございますが、成分献血や400ミリリットル献血を中心に、昨年度都内では延べ55万人の方々にご協力をいただき、こうした善意による貴重な血液は、輸血を必要とする患者さんに滞りなく届けられたと聞いております。これも本日表彰を受けられる皆さまをはじめ、都民一人一人の献血へのご理解、ご協力によるものでございます。

現在、都内の献血者数、輸血用血液の供給量は、ともに全国の1割以上を占めているところでございます。都内には高度先進医療を担う病院が多く、また少子高齢化社会の進展も踏まえると、将来の献血を支える若い世代のご理解と積極的な献血へのご参加が強く求められております。

そのため、東京都では、厚生労働省や日本赤十字社、各関係機関の皆さまと連携し、若年層を中心に、広く都民に献血への理解と協力を呼び掛けるなど、普及啓発活動に努める一方で、医療機関に対しては、専門家のご協力も得ながら、血液製剤の適正使用に向けたアドバイス事業を実施するなど、様々な取り組みを行い、血液製剤の安定的な確保を図っております。

今後とも、東京都の血液事業への一層のご理解を賜り、引き続き献血の推進に積極的なご協力をお願い申し上げます。本日は、表彰式に続き、輸血療法をめぐる、専門の先生のご講演やシンポジウムを行いますので、どうぞ最後までよろしく願いいたします。

結びに、本日表彰を受けられる皆さまに重ねてお祝いと感謝を申し上げますとともに、ご列席の皆さまのご健勝とさらなるご活躍をお祈り申し上げまして、私からのごあいさつとさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

# 2

## 献血功労者厚生労働大臣表彰・感謝状伝達式 東京都知事感謝状贈呈式

### 厚生労働大臣表彰状受賞者(3 団体)

(敬称略)

日本航空電子工業株式会社 昭島事業所

学校法人東京薬科大学

東京中野ライオンズクラブ

### 厚生労働大臣感謝状受賞者(1 団体)

(敬称略)

小金井市献血推進協議会

### 東京都知事感謝状受賞者 (1 団体)

(敬称略)

SOMPOビジネスサービス株式会社

# 3

## 献血セミナー

### 献血の現状と課題

東京都赤十字血液センター  
延島 俊明

ただ今ご紹介にあずかりました、東京都赤十字血液センターの延島でございます。日ごろより皆さまには、血液事業にご理解賜りまして誠にありがとうございます。この場をお借りしまして、献血の現状と課題についてお話をさせていただきます。

こちらの、全国的な献血者の推移というところからお話しさせていただきます。一番左が昭和60年で一番右が昨年度、平成29年度となっております。こちら一番左から右肩下がりにとなっておりますけれども、皆さまもご存じのように昭和60年度当初は、まだ200ミリ献血だけのご協力ということでお願いさせていただきましたが、昭和61年から400ミリ献血なども始まりまして、徐々に400ミリの割合が増えてきております。献血者の方自体は減ってきておりますけれども、総量的には十分確保できておまして、輸血を必要としております患者さんの元に、十分な血液を安定的にお届けすることができております。また成分献血なども同時期から始まっておりまして、徐々に増えているのが分かるかと思えます。

#### 【スライド1】

献血の現状と課題  
— 東京都の献血状況と献血者確保の取り組み —

東京都輸血療法研究会  
平成30年 11月 20日

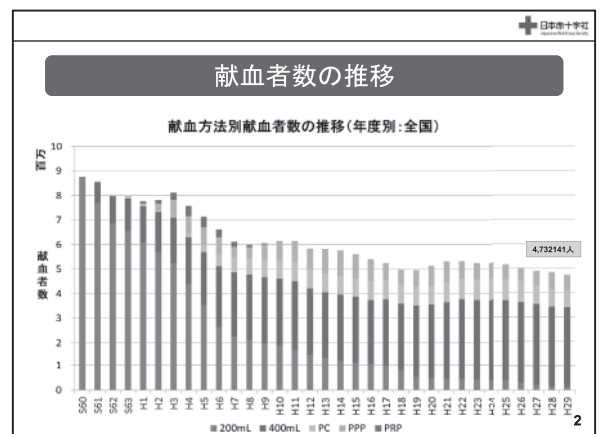


日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

東京都赤十字血液センター  
献血推進一部 延島 俊明

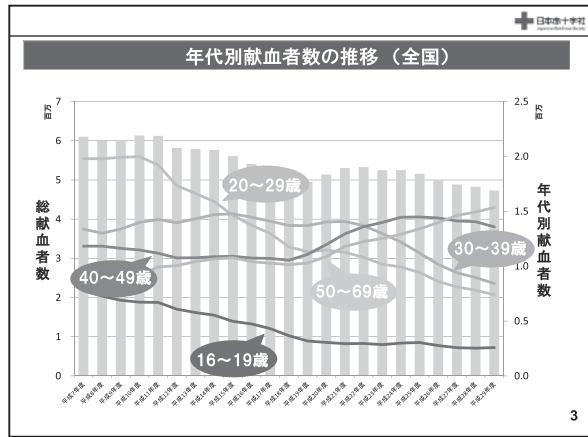
1

#### 【スライド2】



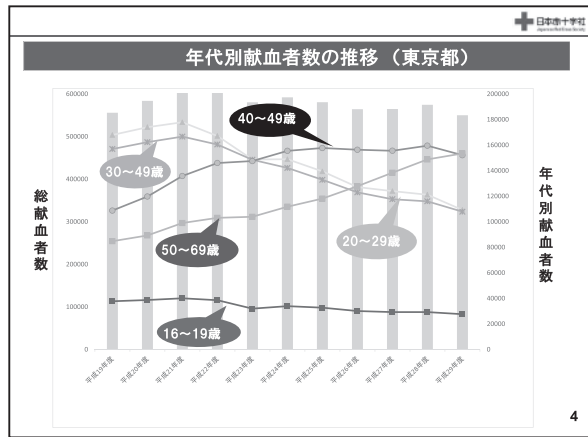
【スライド3】

続きましては、全国の年代別の推移です。先ほど私どもの所長からも話がありましたように、若年層の方の協力が減ってきているのが見て取れます。こちらのグラフを見ていただいても分かりますように、10代、20代、30代というところが右肩に下がってきておりまして、40代、50代の方たちのご協力が増えていっているのが分かるかと思いません。全国的にも若い方々の献血離れが進んでいるのが見てとれるかと思いません。



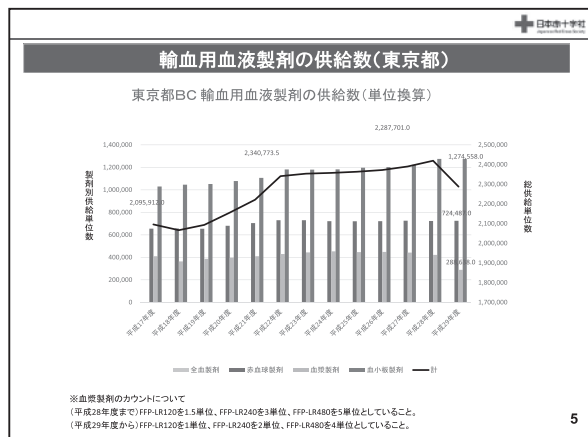
【スライド4】

続いてこちら、東京都内におきましてもやはり全国と同じ傾向になっております。東京都内では昨年度55万人の方々の献血のご協力を頂いております。非常に東京都内というのは全国から比べても大きなシェアを持っておりまして、大勢の方々のご協力を頂いております。東京都内から若い方たちの献血が増えることによって、全国的にも増えていくと思しますので、今後とも若年層の推進を行っていきます。



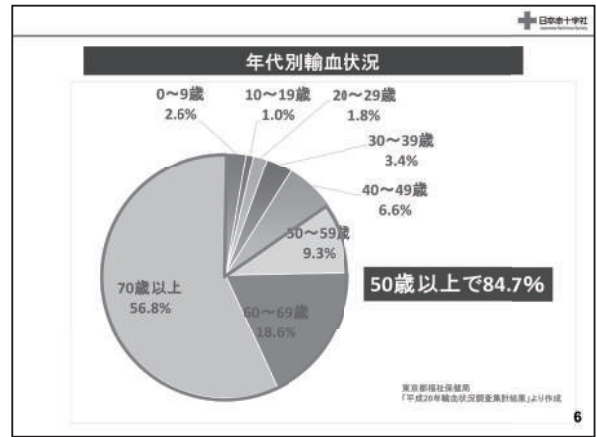
【スライド5】

こちらは輸血用血液製剤の供給状況になります。見ていただくと分かりますけれども、赤血球などはほぼ前年度と変わらずに來ております。血小板につきましては、比較的伸びて來ていたのですが、昨年度は28年度とほぼ同じような形で推移をしております。ただし血漿なんですけれども、血漿につきましては単位数の数が昨年度より変わった関係もありまして、極端に下がっているような形になっておりますが、実際的にはここまで下っていないんですが、若干減少傾向があるというのが見てとれます。



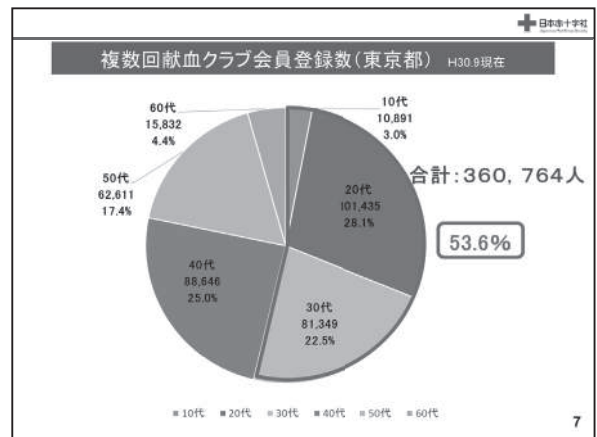
【スライド6】

こちらが年代別の輸血の状況になります。50歳以上の方を赤枠で囲ってありますが、84.7%と非常に大勢の方が輸血を受けているということになります。10代、20代、30代、40代の方たちが、50代以上の方の輸血を支えているということになります。繰り返しになりますが、若い方たちにこれからもどんどん献血に参加いただくようなことを、私どもが続けていかなければいけないと考えています。



【スライド7】

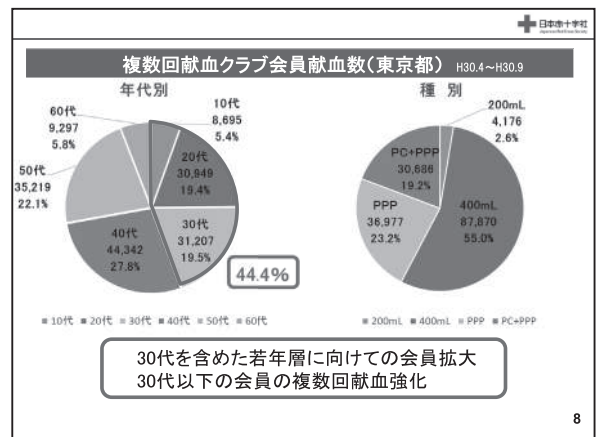
では、どのようなことをしていくかというところになるんですけども、複数回献血クラブというのがございまして、こちらの事業に私どもは力を注いでおります。東京都内の全体で複数回献血クラブに入っている会員の人数ですが、36万人の方にご加入いただいております。その中で10代から30代、今お話ししている若い方たちなんですけれども、53.6%ということで、非常に多く会員になっていただいているというのが見てとれるかと思えます。



非常に多く会員になっていただいているというのが見てとれるかと思えます。

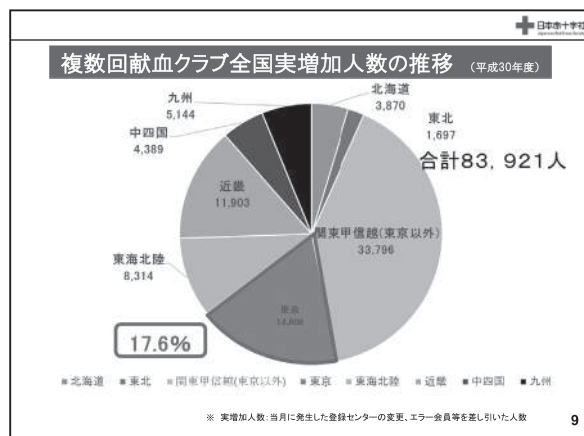
【スライド8】

こちらが実際に入ってる方たちの協力状況ということになります。10代、20代、30代、先ほどは会員が50%いたんですけども、実際にご協力いただいている方たちは、献血者数に比例しての44.4%となっております。ですので、30代を含めた若年層の会員の拡大、また30代以下の方たちの複数回の献血の協力というのが喫緊の課題となっておりますので、血液センターとしましても、複数回献血クラブに力を入れております。



【スライド9】

こちらが複数回献血クラブの全国の実増加人数になります。今年度は全国的に4月から8万3,000人の方の新規加入がございまして、そのうちの17.6%が東京都内で加入いただいているということです。献血率が大体12~13%ですので、それから見ても、非常に東京都内では複数回献血クラブに力を入れて、新規会員の方を確保してるかというのが見てとれるかと思えます。



【スライド10】

献血の推進の取り組み等について、お話をさせていただきます。まずは献血の推進ということになりますけれども、繰り返しにはなりますけれども、若年層の献血者の増加、それから複数回献血の増加、そして献血セミナーを通じて、特に若い方たちに献血の重要性などを理解していただき、若いうちから献血に参加していただける取り組みです。

**これからの献血推進・取り組み**

**献血推進**

- ・若年層献血者数の増加
- ・複数回献血の増加
- ・献血の周知度の上昇
- ・採血の効率化
- ・将来を見据えた基盤整備

**安定供給**

- ・400mL献血率の向上
- ・血小板採血分割化
- ・需要予測の精度向上

**適正使用**

- ・血液製剤の廃棄抑制

10

採血の効率化ですとか、将来を見据えた基盤の整備、先ほど私どもの所長の話にありましたように、安心して献血ができるような環境を整えていくというのも、われわれの課題かと思っております。そういった事業にも取り組んでおります。また安定供給ですけれども、これは医療機関からのオーダーに合わせた400ミリリットル献血率の向上、安定的に血小板を供給するために血小板の分割化の推進、それとともにやはり需要予測の精度向上というのが、どうしても必要となってきます。こういったものを行いながら、必要な血液を十分確保してくということを進めております。

また、献血者の皆さまから頂いた尊い血液を、血液センターと医療機関の皆さまと力を合わせて、今後も無駄なく使用することが大事と思っておりますので、ぜひ今後ともこちらに関しましては、皆さまのご協力も、頂けたらと思っております。




## 【スライド11】

ここからちょっと情報提供みたいな形になりますが、固定施設の再編についてお話しします。実は平成7年の12月からオープンしておりました、当時は日本一の献血ルームということで、新宿の東口に献血ルームがあったんですけども、こちらのルームがビルの建て替えということがありまして、今年の4月の中旬に一時閉鎖ということになっております。

かなりの大規模ルームでしたので、その分の献血者を確保するためにこちらにもありますように、一部のルームにベッドを増床させていただくとか、幾つかの献血ルームにおきまして受け入れ時間の変更等を行っての献血者確保の維持ということを努めております。

先ほどもありましたように、皆さま方にも、東京都内には山手線内を中心として13の献血ルームがございますので、ぜひこちらをご利用いただいて献血へご参加をいただけたらと思っております。



固定施設の再編

○新宿エリアの再編

平成30年4月東口献血ルーム(14ベッド)の一時閉鎖  
→ 改築に伴い平成32年~33年開所予定

・増床と定休日廃止  
新宿東口駅前献血ルーム10ベッド→14ベッド(4ベッド増)  
献血ルーム新宿ギフト10ベッド→11ベッド(1ベッド増)

○その他都内献血ルームの変更


- ・akiba: F献血ルームの受付時間変更  
現行 10:00~17:45 変更 9:30~18:00(昼休みなし)
- ・新宿東口駅前献血ルームの受付時間変更  
現行 10:30~18:15 変更 10:00~18:30(昼休みなし)
- ・献血ルーム新宿ギフトの受付時間変更  
現行 10:00~17:45 変更 10:15~18:00
- ・立川献血ルーム昼休みの廃止

\* 新宿東口ルーム確保数を維持

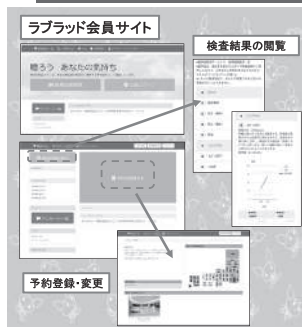
11

## 【スライド12】

先ほどからちょっとお話しさせていただいた、若い方たちの献血の確保というところで、複数回献血クラブがございますというお話をさせていただいたんですが、この10月の下旬にさらなるご協力を頂くために、ラブラッドという形でウェブサイトのリニューアル等を行っております。こういった形で、若い方たちがより入りやすい、また利用しやすいような環境を整えております。




複数回献血クラブ会員サイトリニューアル



献血Web会員サービス  
**ラブラッド**  
献血者専用サービス

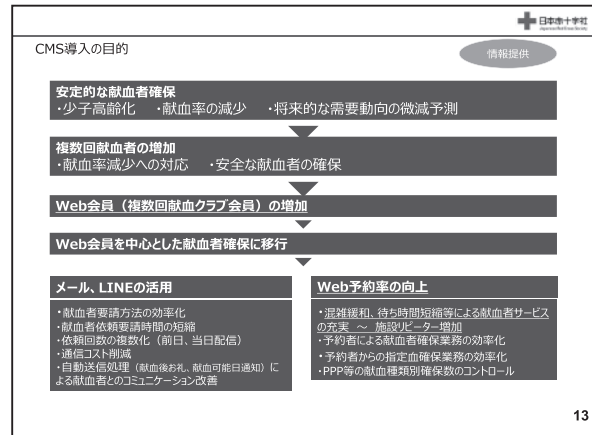
- Web予約の全国共通化  
⇒ 全国どこでも献血予約が可能  
※ 前日13時まで予約変更可能
- Webポイント制度の全国共通化  
⇒ 20ポイントで記念品と交換



12

【スライド13】

目的としましては、こちらにも書いてありますが、少子高齢化、献血率の減少、将来的な需要動向の予測による献血者確保は今まではほぼメールだけの献血のお願いということでやってきましたが、非常に若い方たちは、なかなかメールを最近見ないというお話も聞いております。そういったこともありまして、LINE というのも取り入れたり東京の方でも今度北海道に行ったときに献血をやりたいといえ、全国どこの献血会場の予約でもできるような形にもなっております。このように利便性を向上させたツールを使いながら献血者確保に努めてまいります。



【スライド14】

最後になりますが、ぜひこちらにいらっしゃる方々も、献血など何度かご協力いただいているかと思いますが、さらなるご協力を頂けたらと思っておりますので、よろしくお願いたします。

今後とも、われわれ職員一同、安全な血液を安定的に医療機関にお届けするよう努力してまいりますので、ぜひ皆さまのご協力を頂けたらと思っております。よろしくお願いたします。ご静聴ありがとうございました。

